

## ゴリカモメ(カモメ科) 全長 40 センチ

5月2日、大曲雄物川上空を数十羽の白っぽいカモメが何度も旋回したあと、中州に降り立った。  
浅瀬に一直列に並んでいたのはゴリカモメで、その数42羽。ユーラシア大陸の温帯から、亜寒帯で広く繁殖し、日本には冬鳥として多数が飛来しています。  
しかし内陸部ではお目にかかることがなく、私が大仙市内で観察したのは今回が初めてでした。



両翼は細長いので、地上にいる時よりも大きく感じられます。

北の繁殖地を目指し、移動途中に立ち寄ったのでしょうか、餌を探しているような行動は見られません。ここでじっくりと体を休め、再び北に向かって飛び立って行くことでしょう。  
頭部が黒いのが成鳥で、既に夏羽に変わっています。頭が白っぽい幼鳥も数羽見られます。



上空を旋回しながら中州に降り立った。



浅瀬に整列しくつろぐ。

地上で羽をたたんでいる時と比べ、飛んでいる時の姿ははるかに大きい鳥に見えました。これは両翼を広げると93センチにもなり、倍以上の大きさに見えているのです。

ここ雄物川の中州は、コアシサシやミサゴ、オシドリ、コチドリなどが飛来する野鳥の交差点になっているのです。バードウォッチャーにとっては、理想的な環境が整っている場所であり、いつもでも残したい故郷の自然です。



頭部が黒いのが特徴的。



目の縁半分が白いので、愛嬌のある顔立ちです。